



スクールバス



ホストファミリーとバーベキュー



中学校の授業風景



中学校の授業の合間に



浴衣姿のアメリカの仲間たち

# ジョージタウン派遣団

●**団長(福江中学校長)** 八木 稔

生徒たち同様のホームステイ6泊。不安なスタートでしたが、素晴らしい夫妻に温かくもてなしていただき大きな財産ができました。生徒たちも獲得した財産を生かしてくることでしよう。

境や言葉を超えた人の温かさを感ずることができました。これからはこの経験を生かしてがんばっていきましょう。

●**福江中3年** 奥田 亜子

アメリカでも日本でも、やっぱりコミュニケーションは大事なんだなと思いました。海外交流派遣で吸収したことをこれから生かしていきたいです。

●**田原中3年** 小久保瑠依

アメリカでも日本でも、やっぱりコミュニケーションは大事なんだなと思いました。海外交流派遣で吸収したことをこれから生かしていきたいです。

●**福江中3年** 吉田 直弘

アメリカの良さと同時に、日本の良さを見つめる良い機会になりました。多くの人々とのかけがえのない出会いを、今後の自分の財産として大切にしていきたいです。

●**田原中3年** 渡辺 結芽

アメリカで出会った人たちは優しく、いろいろな話をするのができました。日本でも、人と積極的にコミュニケーションを取りたいと思います。

●**福江中3年** 鈴木 亜実

ホームステイを通して、人の優しさや温かい心を学びました。本当の家族のようなホストファミリーに出会うことができ、とても幸せです。

●**伊良湖岬中3年** 高瀬ゆうみ

身振り手振りでお互いの気持ちを分かり合うことができました。しかし、思いを的確に伝えるためには、英語力を磨く必要があると感じました。

●**福江中3年** 鈴木 亜実

●**田原中3年** 藤井 愛子

世界観や価値観を広げることができました。人と人とのつながりから、全てが始まっていくと感じました。心のつながりを大切にしていきたいです。

●**伊良湖岬中3年** 山本 貴哉

初めて会う人たちが積極的に話しかけてくれる姿に、人の優しさを感じました。笑顔とあいさつは、国境を越えても変わらない大切なも

●**田原中3年** 大谷香菜子

この海外派遣で、文化の違いや国

## 平成20年度 田原市中学生海外派遣について

本年度は、市内の中学生20名と、引率者4名の計24名が、姉妹都市である米国ジョージタウン市と、友好都市である米国プリンストン市・ギブソン郡へ12名ずつに分かれ、ホームステイ先のホストファミリーと交流しながら、学校生活を体験しました。中学生にとっては、国際化への希望を開く、かけがえのない経験となりました。